

《内容》

新しい嚙下アプローチの考え方・手技で臨床の幅が広がります！

■従来の嚙下評価やアプローチをしてるけど、実際は何が変わったか分からない。

■手技が苦手。出来るのか自信が無い。

(手先や身体の使い方が分からない)

■手技を習ったが、どうやって臨床に応用させれば良いか分からない。

■PT/OT が介入してから、嚙下機能が良くなった。けど、理由が分からない。

■臨床のパターンが決まっていて、もう少しアプローチの幅を広げたい。

などなど……

日々の臨床で色々な悩みや疑問を抱えていませんか？

嚙下機能は、決して頸部だけで成り立っているものではありません。

このセミナーでは、全身があつての嚙下機能ということをお伝えし、従来の嚙下アプローチとは視点を変えて臨床のスキルアップを目指します。また、実際に私が行ったりハビリを動画で見させていただき臨床でどうやって手技を使うのか分かりやすく説明します！

《セミナー内容》

■全身からみる嚙下機能について。

■嚙下アプローチを効率的に行うための表価・訓練の進め方。

■PT・OT との連携のとり方について。

■【触診・手技】身体の使い方について。

■症例(動画での説明)

言語聴覚士が苦手とする手技や身体の使い方をしっかりとレクチャーし、どのように臨床で使えば良いのかを現役の言語聴覚士が、言語聴覚士の目線で皆さんにお伝えします！！

《セミナー参加者の感想》

M. H さん

嚙下と体幹（全身の筋）との関わりについて知ることが出来た。

今までとは異なるアプローチ、視点を身に付ける事が出来ました。

K. H さん

嚙下筋群のアプローチだけでは改善しないことが勉強になりました。

T. E さん

動作協力が得られない方へのアプローチの方法がわかりました。

K. Y さん

今まで徒手的なアプローチは行う機会がなくイメージも湧きませんでした。治療の幅が広がりました。

S. T さん

シャキアで緊張が高まってしまう理由がわかった気がします。STでも実践できそうに
噛み砕いて説明や手技を教えていただけたことがよかったです。

M. Tさん

腸腰筋など普段触らない筋へのアプローチを知ることができ大変勉強になりました。

F. Tさん

少人数で行っていただいたので手技を繰り返し練習できてよかった。すぐ臨床で使ってみたいです、気軽に質問できてとても楽しかったです。

M. Hさん

手技だけでなく1回1回ごとに評価することなど臨床全体に関わってくる大切な情報を教えていただくことができました。

R. Iさん

筋の名前や解剖を説明していただいた上で自分や他人の体を触れるのでとてもわかりやすかったです。呼吸が悪い人に対して筋力アップばかりを図る訓練をしていましたが、それだけではない事が大切だと教えていただけました。自分の体で効果を実感できたのは感動しました。手技を忘れないうちにいろいろな人の体を触ろうと思いました。

H. Aさん

STが教えてくれるので解剖的なこと、実技もわかりやすかったです。じっくり実技の時間があり、見ていただきながら実践できたのでよかったです。臨床でも実践できそうです。

F. Hさん

身体面や様々な筋と嚙下の関わりについて学ぶ事が出来た。

S. Hさん

STも全身の筋肉がわかった方が良いと言う事はよく言われてきましたが、なかなかびんと来ず後回しになっていたのですが、今回参加して効果が出やすくSTにとってとても大切なことがわかりました。

N. Nさん

手技の際の力の加減が自分では疑問だったので先生から直接学べてすぐ役立てていけそうです。ペアで練習したときに効果がすぐ目に見えて分かりすぎのやり方がよくわかりました。少人数なのが質問しやすくよかったです。

【再受講者】

T. Iさん

実際の手技を詳しく教えてもらい自分で変化を感じられることができた。

セミナーに参加してから患者さんへのアプローチが楽しくなり訓練プログラムを考えるのにも大変役立っています。

Y.Sさん

本当に臨床が変わります。

2回目の参加でより知識が深まりました。内容もアップデートしていて参加出来て良かったです。

T.Yさん

前回参加したセミナーで教えていただいた手技が役立っている所以他にも手技を身に付けるために参加しました。構音障害の患者さんに対して手技を行っていくことに自信をなくしかけていたがやっけて大丈夫だと思いました。